

令和 3 年度 施策評価表

施策	0202 小・中学校教育の充実	施策担当部等	教育委員会	教育政策監	西村 一孔
		施策担当課等	学校教育課	課長	橋口 智秀
施策の方針	心の教育や健康教育の充実を図りながら、生きる力を育む学校教育を推進する。また、信頼される学校づくりを目指し、学校評価の充実や教育活動の広報に努める。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】  
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 小・中学校の標準学力の検査結果（市内平均値／全国平均値）	%	97.1	100 96.2	100 92.6	100 95.8	100 95.7	100 95.3	95.3%	95.3%
② 小学校の総合的な学習の時間に占める「ふるさと学習」の割合	%	27.0	35.0 34.6	35.0 50.3	35.0 48.7	35.0 54.9	35.0 55.0	157.1%	157.1%
③ 中学校の総合的な学習の時間に占める「ふるさと学習」の割合	%	16.9	25.0 17.5	25.0 38.0	25.0 37.2	25.0 53.0	25.0 51.0	204.0%	204.0%
④ 学校教育に対する保護者の満足度	%	88.0	90.0 83.0	90.0 82.3	90.0 82.0	90.0 90.8	90.0 81.7	90.8%	90.8%
⑤									

施策達成状況の説明

- ①について  
 ・小学校95.6%、中学校94.5%であった。基準値を超えた学校は、21校中、小学校4校、中学校2校である。全国平均よりも低い状況が続いており、「大村市学力向上プロジェクト」等を立ち上げ対策をとる必要がある。
- ②③について  
 ・市の施策であり、各学校において独自性ある多様なふるさと学習が推進されている。今後さらに郷土教育の充実を図り、豊かな郷土愛、本県を担おうとする心情を育成する手立てが必要である。
- ④について  
 ・小学校81.9%、中学校81.2%であった。基準値を超えた学校は、21校中、小学校5校、中学校1校である。実績値が約9%下がった背景には、コロナ禍による学習の遅れや進路への不安、学校行事の減少等に対する不満がある。今後も情報発信に努めることが望まれる。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,217,013	736,032	647,337	
	国庫支出金	383,849	8,121	11,341	
	県支出金	2,294	4,574	3,688	
	地方債	80,100	0	0	
	その他	8,217	11,349	17,330	
	一般財源	742,553	711,988	614,978	
人件費	43,336	47,597	-		
フルコスト	1,260,349	783,629	-		

施策の概要

020201	生きる力を育む学校教育の推進	時代のニーズに応じた豊かな学力と確かな育ちを保障し、生きる力を育むために、少人数指導、チームティーチング、ICT教育など、質の高い教育を実施します。また、ALT（外国語指導助手）を活用するなど、グローバル人材の育成に向けた英語教育を推進します。さらに、小・中学校教職員が連携を図り、学習指導や生徒指導を充実するとともに、小中連携教育や小中一貫教育の在り方について調査・研究を行います。
020202	心の教育の推進	創造力豊かで思いやりのある心を持った児童生徒を育むため、学校が家庭や地域社会との連携を図りつつ、道徳教育や人権教育、郷土教育などを実施します。
020203	健康教育の推進	体力の向上や心身の健康増進のため、体育科の学習を通じた児童生徒の基礎的な体力づくりや、運動能力の向上に努めます。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう、食育を推進します。
020204	信頼される学校づくり	小・中学校のホームページや学校だより等による教育活動の広報を強化するとともに、学校評価の充実を図り、特色のある学校づくりを目指します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>小中学校の標準学力の検査結果については、小学校の全国平均が69.1に対し大村市が66.1、中学校は全国62.3に対し大村市59.1であった。学力検査の点数化は全国水準との比較を可能にしているが、授業改善や個々の課題克服の手立てとしての活用に重きを置いている。この検査から明らかになった成果と課題を各学校において分析し、陥没点については授業を通して重点的な指導を行い、併せてGIGAスクール構想のもとICTを活用した学びの広がりや深まりを推進するなど、授業改善の指導を継続して行っていく。</p> <p>保護者の満足度については、各小中学校において学校への信頼を高めなければならない。そのためにも保護者、地域の願いや実態を把握し、子どもが安全安心な学校生活を送られる教育環境づくりと適切な教育活動が必要であり、校長の学校経営方針のもと、学校組織を生かした教育活動の展開について引き続き指導を行っていく。</p>
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>コロナ禍で社会情勢が大きく変わっているなか、学校教育においても新しい生活スタイルに基づいた、学校教育が求められている。各施策構成事務事業については上記課題を克服できるよう、変わる事のない不易の部分大切にしながら、新しいスタイルに応じた具体的で実効性のある手立てを、今後も学校現場へ届けていきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各施策構成事務事業で実施される教職員向け研修会（校長会研修、教頭会研修を含む）において、指導助言内容を精査する。</li> <li>2 市内小中学校への諸表簿点検や計画訪問等による教職員への直接的な指導を通じて、学校全体の教育力の向上を図る。</li> <li>3 ICT支援員を活用しながら、「ICT機器を有効に活用した学校教育の実践」についての研修を充実する。</li> </ol>
---	--

令和4年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1	中学校部活動推進事業	学校教育課	4,293	中学校における部活動指導体制の充実及び部活動を担当する教職員の負担軽減のため、市内中学校に指導員を配置する。
2	小学校水泳指導事業	学校教育課	1,122	学校敷地外にプールのある三浦小学校の、児童の安全確保等のため、民間プールを活用して水泳指導の充実を図る。
3				
4				
5				
			5,415	